

# 平成21年度 学校評価自己評価報告

学校名〔京丹後市立峰山中学校〕

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>【教育目標】 「確かな学力を身につけ、こころ豊かで、たくましく主体的に生き抜く生徒の育成」</p> <p>【めざす学校像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒にとっては魅力ある学校</li> <li>・家庭、地域社会にとって開かれた学校</li> </ul> <p>【めざす生徒像】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲を持って生き生きと活動する生徒</li> <li>・人の気持ちがわかる優しい生徒</li> <li>・心のこもった挨拶ができる生徒</li> <li>・からだを鍛え、たくましい生徒</li> </ul> <p>◎確かな学力の育成 ◎豊かな心の育成 ◎開かれた学校づくり</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力課題の分析に基づいた授業、学力の定着を図る校内授業研究会、週末課題、補習・補充学習の実施</li> <li>・京都式少人数授業の実施（英語・数学）</li> <li>・不登校生徒への組織的な対応により好転した生徒が増加</li> <li>・多様な指導方法による道徳授業の実施</li> <li>・組織的な体制と早期発見・早期指導により問題事象が減少</li> <li>・積極的な学校公開、情報発信</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・低学力生徒への指導、家庭学習の定着、意欲・関心を高める指導方法</li> <li>・不登校生徒の解消と未然防止</li> <li>・全教育活動を通して人権意識・規範意識を醸成する指導</li> <li>・個別の支援計画による個々の生徒への具体的な指導</li> </ul>	<p>【確かな学力の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○授業実践力の向上</li> <li>○言語活動の充実</li> <li>○学習習慣の確立</li> <li>○総合的な学習の時間の充実</li> <li>○読書活動の推進</li> </ul> <p>【豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道徳教育を全ての教育活動で展開</li> <li>○人権・規範意識の醸成</li> <li>○不登校・いじめの未然防止</li> <li>○健全な食生活の実践</li> <li>○体力の向上・健康安全教育の推進</li> </ul> <p>【開かれた学校づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校・地域・家庭との一体化</li> <li>○家庭の教育力の醸成</li> </ul>

評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題（自己評価）
教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新学習指導要領の先行実施</li> <li>・学習意欲の向上</li> <li>・指導方法の工夫改善</li> <li>・学力課題の分析</li> <li>・基礎基本の定着</li> <li>・学習規律の確立と家庭学習</li> <li>・習慣の定着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画の見直し、時間数の確保</li> <li>・各種のテストの客観的な分析に基づいた授業、補習・補充・週末課題、小テストや繰り返し学習</li> <li>・少人数授業（数学・英語）の実施</li> <li>・全教員による校内授業研究会の実施</li> <li>・学力と生活の相関関係について保護者に啓発</li> <li>・生徒の学習状況の交流（毎週）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○低学力の生徒の意欲が向上し、学力が定着</li> <li>○課題に応じた指導などで生徒の意欲が向上</li> <li>○習熟の程度に応じた授業の実施</li> <li>○客観的な資料に基づいた説明で保護者の意識が変化</li> <li>○全教職員による学習状況交流により、学習規律が定着</li> <li>△生徒に興味関心を持たせる授業実践力</li> <li>△家庭との連携を図った家庭学習習慣の定着</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の内面に迫る指導</li> <li>・問題事象の減少</li> <li>・的確な生徒の実対把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒とのふれあいの時間を確保、学級経営及び部活動指導の充実（心をゆさぶる指導、ミーティングを重視）</li> <li>・道徳の時間との関連を図った行事、学級・全校指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全教職員で生徒の指導にあたることで、生徒との関係づくりが構築（部活動のミーティングの内容も充実）</li> <li>○アンケートや的確な日々の実態把握により、問題事象</li> </ul>

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期発見・早期対応</li> <li>・不登校出現率の低下</li> <li>・生徒の主体的な取組</li> <li>・保護者への情報提供</li> <li>・関係諸機関との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期・中期の指導方針の提案、報告・連絡・相談の徹底</li> <li>・毎日（学年）、毎週（生徒指導部）生徒の実態把握と交流</li> <li>・教育相談部（的確な実態把握と分析、具体的な方針など）</li> <li>・定期的な全校集会（生徒の主体的な取組、教師の講話）</li> <li>・P T Aへの積極的な情報提供</li> <li>・警察、遊技場、医療関係などと定期的に情報交換</li> </ul>	<p>を未然に防ぐことが出来、問題事象の件数が減少傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全教職員の情報の共有化で一致した指導が展開</li> <li>○個別の指導計画、ケース会議、S Cとの連携、継続的な保護者面談など組織的対応により回復した生徒が増加</li> <li>△家庭との連携を図った規範意識・人権意識の醸成</li> <li>△不登校・問題事象の減少</li> </ul>
健康（体育）・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体系的な保健教育の推進</li> <li>・組織的・計画的・継続的な食育推進計画に基づいた取組の推進</li> <li>・安全な生活を営むための安全教育の推進</li> <li>・体力の向上に向けた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に基づいた保健学習、保健指導</li> <li>・道徳・総合・特別活動との関連を図った保健教育の指導</li> <li>・基本的な生活習慣の確立を図るための保護者への啓発</li> <li>・教科等との関連を図った食に関する指導を推進</li> <li>・交通安全指導の徹底（交通教室、P T Aとの連携）</li> <li>・避難訓練の実施（地震・火災・不審者）</li> <li>・体力の客観的な分析に基づいた取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○現代的課題に対応する保健教育の実施（薬物、性教育等）</li> <li>○保健・安全計画の策定</li> <li>○スクールランチ（毎日）の放送により給食マナー、感謝の気持ちなど生徒の給食に対する意識が高揚</li> <li>△校内外の安全指導の徹底（特に自転車の交通マナー）</li> <li>△危機管理マニュアルの見直しと改善</li> <li>△教科等との関連を図った食育の推進</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的・系統的なキャリア教育の推進</li> <li>・進路相談室等を活用した情報提供と進路相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画に基づいた系統的な進路指導</li> <li>・啓発的経験を得させる活動</li> <li>・計画的な進路相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○組織的・系統的・計画的な進路指導を各学年で実施</li> <li>○福祉体験（1年）職場体験（2年）体験セミナー（3年）などの啓発的な体験活動が定着</li> <li>○二者・三者面談を定期的実施、生徒の意識が高揚</li> <li>△進路相談室の有効活用</li> </ul>
小中連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9年間を見据えた教育の推進に向け、小中の課題を共有化するとともに、課題の克服に向けて連携を一層充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力充実担当者会の実施 学力の分析、授業参観、出前授業、体験授業、校内研修</li> <li>・教育相談担当者会の実施 不登校児童・生徒の課題交流及び研修</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中の学力課題や指導方法をお互いに交流することで授業改善が一層推進</li> <li>○課題を共有することで、不登校に対する指導が充実</li> <li>○中学校への円滑な接続</li> <li>△系統的な指導</li> </ul>
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校公開など地域や保護者に積極的な情報発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育内容、生徒の活動などを保護者や地域に発信</li> <li>・地域への奉仕活動</li> <li>・学校の評価結果の公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事には500名の保護者や地域の人が参観</li> <li>○地域と一体となったクリーンキャンペーンを実施</li> <li>○保護者アンケートも高い評価</li> </ul>
次年度に向けた改善の方向性	<p>◎ 当たり前のことが当たり前に出来る生徒の育成（学力の向上と心の教育を基本に据えた学校経営）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教職員の資質能力の向上（生徒の心を揺さぶる教員、授業で勝負できる教員）</li> <li>2 組織として機能する学校（心と学力のプロジェクトの機能化、生徒の実態や客観的な資料分析に基づいた具体的な指導）</li> <li>3 家庭や地域と一体となった教育活動（開かれた学校、積極的な情報発信、地域の人材活用）</li> </ol>		

# 平成21年度 学校評価自己評価報告

学校名〔京丹後市立大宮中学校〕

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>1 生涯学習の基盤として、豊かな心とたくましく生きる力の育成をめざし、基礎基本を徹底し、確かな学力を付ける教育活動の充実を図る。</p> <p>2 教養と社会対応力、思いやりの心を持つ視野の広い生徒を育成するため、学校内外での体験活動と生徒指導・教育相談を充実させる。</p> <p>3 体育・スポーツ活動を重視し、挑戦することを通して向上心、忍耐力、協調性等の育成を図る。</p> <p>4 地域・保護者連携を高め、開かれた教育活動を通して信頼される学校づくりを推進する。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>教育活動に対する「結果責任」意識の高揚</p>		<p>「文武両道」を伝統とする学校として、心技体の調和のとれた生徒育成をめざし教育活動を進めた。</p> <p>○全体指導を重視し、規律があり安定した学校生活につなげ、生徒・保護者の学校評価も上昇した。</p> <p>○教師力向上の研究指定を生かし、授業改善や学力充実につながる諸活動を展開し、教員のスキルアップや学力向上につなげた。</p> <p>○開き発信することを通して学校力を高めるため各種の取組・活動を積極的に展開し成果につなげた。</p> <p>○課題を踏まえて部活動の充実に取り組み、各種調査結果も高まり、各大会の結果にもつながった。</p> <p>△生徒の変容につながる学級経営、生徒指導、授業改善への一層の工夫と努力を行う。</p> <p>△不登校問題の改善に向けて、多面的な検討を進める必要がある。</p>	<p>～文武両道の大宮中学校～</p> <p>☆ふれあい・対話を通して、友を支援励まし合う、規律ある生徒を育成する。</p> <p>☆分かりやすい授業を通じた基礎学力の定着や言語力の育成を通して、学力向上に努める。</p> <p>☆道徳教育、体験活動、部活指導等を通して、たくましく豊かな心を育てる。</p> <p>☆地域連携、小中連携を踏まえて、教育活動の質的向上をめざす。</p> <p>《生徒に求める心と姿勢》</p> <p>①気持ちよく挨拶する。(いつでも、どこでも)</p> <p>②感謝の心を持つ。(ありがたうの心と言葉を)</p> <p>③相手、そして自分の持っているものを大切にする。(相手、次に自分)</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>《教育活動への信頼度》</p> <p>生徒評価・・・71%、保護者評価・・・85%</p>
評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題(自己評価)
教育課程 学習指導	<p>○指導力量、授業改善につながる研修の充実と意欲的な授業公開に努める。</p> <p>○生徒の学力を高めるため組織的、意欲的な活動を展開する。</p> <p>○授業改善に向けた計画的な活動を展開する。</p> <p>《教科共通目標の観点》</p> <p>①開かれた授業と指導力の向上</p> <p>②規律ある分かりやすい授業</p> <p>③基本の徹底、言語力の育成</p>	<p>☆「見せる、見せられる」教育活動を積極的に進め、学校教育の充実並びに指導力の向上につなげる。</p> <p>☆目標を明確にした授業公開を増やし、評価を受ける中で授業改善を進める。</p> <p>☆各学力テストの分析や授業評価アンケート(2回)等を通して学力実態、学習状況を把握し、期待に応える授業・学習指導を進める。</p> <p>□学習指導の目標を意識した授業研究を計画的に実施し、授業改善を進める。</p> <p>□各種学力テストを分析検討し、教科に指導の方向性を示す。</p> <p>□協同学習、「学集会」、家庭学習支援等を通して学習状況を把握し適切な提起につなげる。</p>	<p>○6回の休日参観日を含む13回の参観日を設定し、参観者を増やすために様々な工夫も進めた。(年間2000名程度の参観者)</p> <p>○授業改善に向けて、工夫した定期的な研究会を実施すると共に、授業姿勢・評価等アンケートも年間2回行い、改善に活用した。(各教科1～2回授業研、全体授業研3回実施)</p> <p>○授業以外の学習指導も積極的に進め、協働意識の下で基礎学力定着につながっている。「協同学習」(終SH後30分間×9日間×3回)・「学集会」(休業中の学習活動)・「ふりスタ」(1学期から16日間実施)</p> <p>△授業規律課題への組織的総合的な努力の継続</p> <p>△家庭学習の定着に向けた家庭連携の充実</p>
健康安全	<p>○健康を第一に考え、健康と安全に関わる指導、訓練を計画的に行い徹底する。</p> <p>○生徒の安全を守るための関係諸機関との連携を進める。</p>	<p>☆火災・不審者・地震等の避難訓練並びに情報化社会への適正な対応力を高める啓発・指導を通して、危機対応力を高める。</p> <p>☆PTA活動と連携し交通安全等安全に関わる取組を展開する</p> <p>□生きた教材としての学校給食に関する活動・取組を通して、食生活への関心を高める。(給食委員会との連携)</p> <p>□安全につながる基本的生活習慣の充実に努めると共に、生徒会・委員会活動と連携した取組、活動を展開する。</p> <p>□保健体育科と連携した性教育や保健指導等の充実を進める。</p>	<p>○部活中のケガの多さを踏まえ、各部の予防研修、熱中症予防講演会、緊急対応研修等を行った。</p> <p>○新型インフル予防対応を総合的に進め、2学期予定行事もすべて実施できた。</p> <p>○保健便り、安全ニュースを適宜発行した。</p> <p>○情報社会対応講演会を警察と連携し実施した。</p> <p>○PTA活動(「ここにこカー」活用21日間)と連携した交通、登下校の安全指導ができた。</p> <p>△食育の充実と交通安全指導の徹底。</p>

生徒指導 教育相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支え合い、指摘し合える生徒を育てるための緻密な学級経営</li> <li>○生徒の内面理解に努めると共に問題事象や現状の背景分析と家庭、関係諸機関等との連携を丁寧に進める。</li> <li>○報告・連絡・相談による早期発見、早期対応(個別指導)の充実を進める。</li> <li>○スクールカウンセラー、教育相談担当者との連携充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ふれあい、話し込みを大切にし、事象対応は「スピード・丁寧・誠実」を意識し、動きを止めない指導を進める。</li> <li>☆ルール、マナーを守り、挨拶のできる生徒を育てる。</li> <li>☆定期的にアンケート等を実施し、生徒の悩みや相談について把握し、指導・支援を行う。</li> <li>□支え合いと他者へ指摘できる態度の育成など学級経営重視を軸とし、反社会的問題事象の減少を一層進める。</li> <li>□支え合う心の育成など学級経営重視を軸とし、不登校生徒の減少に努める。</li> <li>□家庭訪問など保護者との接点を大切にし、専門家との連携を通して、各生徒の早期改善をめざす。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○反社会的事象が増加し、規律の緩みが危惧される中、協働意識を高め、前向きな努力が継続できている。</li> <li>○諸課題の解決に向けて、保護者・PTA並びに関係機関との連携を重視し、改善に取り組んだ。</li> <li>○不登校問題の解決改善に向けて、手法の改善や様々な工夫を進め、成果にもつなげた。</li> <li>△情報交流の迅速・徹底を進め、状況の共通認識を高め、規範意識の回復を図る。</li> <li>△不登校生徒の数的状況の改善に向けて、小中連携の充実など一層の工夫と努力</li> </ul>
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育目標、重点目標に沿った内容の工夫改善を進める。</li> <li>○生徒会本部、各中央委員会、各専門委員会はねらいを持って動きが見える活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆合唱祭、体育祭の活性化を意識し、成功させる。</li> <li>☆行事、学校生活の充実のため、わかりやすく動きの見える活動を行う。</li> <li>□生徒会本部の指導性が発揮される活動、取組を展開し、生徒活動の充実を図る。</li> <li>□各専門委員会、各中央委員会の活動を調整し、生徒の充実感につながる分かりやすい取組を展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ねらいを明確にし、学級づくりにつなげながら、達成感を高め、行事の成功につなげた。 (活動の高評価90%超と多数の参観者)</li> <li>○一日の生活の中で、各委員会が役割を分担し委員の充実感につながる分かりやすい取組が展開できた。(見える活動の充実)</li> <li>○自尊心の高揚も意識した多様な講演会等の実施</li> <li>△生徒会活動の活性化と機能化の追求。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○進路実現をめざし、各学年で実態に合った効果的な進路学習、指導を行う。</li> <li>○進路に関わる保護者連携、情報発信を各学年で丁寧に進行。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆3年間を通じた系統的な進路情報の提供を行うと共に、12月に全学年で三者面談を実施し、指導に生かす。</li> <li>□将来を見通した系統的で体験的な進路学習(キャリア教育)の充実を進める。</li> <li>□3年生の希望進路実現に向けて課題意識を高めるため、2学期以降の学習活動の充実を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全学年三者面談は進路・学習・生活全般を考えるよい機会となった。</li> <li>○地域の協力を得て農業、福祉、職場体験等を実施した。(生徒評価89%、保護者評価97%)</li> <li>○進路指導との関連性を高めた学習活動の充実。</li> <li>○系統的で丁寧な進路情報の提供に努め、生徒・家庭の意識を高めることができた。</li> <li>△キャリア教育の充実と進路学習教材の整備</li> </ul>
開かれた 学校づくり (保護者・地域との連携)	<ul style="list-style-type: none"> <li>信頼される学校づくり</li> <li>○学校開放と教育内容の充実を進める。</li> <li>○積極的な広報活動に努め、地域貢献を進める。</li> <li>○評価活動を進め、教育充実につなげる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆教育活動に対する外部評価、各アンケートを行い、次年度に生かす。</li> <li>☆教育活動の公開、発信を心がけ、地域連携の教育を推進する。</li> <li>☆ホームページ更新を定期的に行うと共に、利用しやすさを追求する。</li> <li>□ホームページ更新のできる教職員を複数養成する。</li> <li>□民生児童委員、保護司会など関係団体との連携を大切にし、情報交流を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な公開を通して教育活動と個々の指導力を高めようとする姿勢が定着してきている。</li> <li>○教育評価アンケート(PTA・生徒)の実施</li> <li>○情報発信を心がけ、ホームページ更新(40回程度)は積極的に実施した。(PTA閲覧率42%)</li> <li>○学校支援ボランティアを活用し、教育活動の充実につなげた。(6種8名延べ60日程度)</li> <li>△地域と連携した教育活動の質的向上</li> </ul>
次年度に向けた 改善の 方向性	<p>文武両道の伝統を継承し、生徒・保護者・地域社会から信頼される、より良い学校づくりを進める。現状を踏まえ危機感を持ち、目標の焦点化、明確化を進め、責任感、組織力、協働意識を通して課題の解決改善につなげる。教育活動を支える心として、「生徒に求める心と姿勢」をあらゆる角度から指導する。</p>		<p>(次年度の重点目標の方向性)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 規律ある学校・学級経営の充実</li> <li>2 分かりやすい授業を通じた学力充実、向上</li> <li>3 生徒会活動の活性化と部活動の重視継続</li> <li>4 小中連携の充実と学校支援地域本部事業活用</li> </ol>

# 平成 21 年度 学校評価自己評価報告

学校名〔京丹後市立網野中学校〕

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲的に学び、確かな学力を身につける。</li> <li>・自尊感情を尊び、豊かな心を育てる。</li> <li>・心身を鍛え、克己心を養う。</li> <li>・地域に開かれた学校作りを進める。</li> </ul>		<p>△学力の二極化（数学）、下位層（生徒指導上の課題を含む）への具体的な手立て、学習習慣の定着を図る。</p> <p>○不登校出現率を低位にとどめた。(H19:5人、H20:5人)</p> <p>○好ましい人間関係が全体に広まってきた。</p> <p>△あいさつや制服の着こなしなど外部の評価に耐えられる価値観を育成する。</p> <p>○校種間・関係機関・関係団体との連携が進んだ。</p>	<p>学習規律の確立</p> <p>【キーワード】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人の話を聴く」</li> <li>・「時間を守る」</li> <li>・「考える」</li> </ul>
評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題（自己評価）
教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業規律の確立を基盤とした授業改善による基礎学力の定着</li> <li>・学習習慣の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数授業における効果的な講座編制</li> <li>・学力実態分析、年4回の校内授業研究会の実施</li> <li>・学力充実向上部、生徒指導部を中心とした授業規律の徹底</li> <li>・特別活動部による授業規律の確立を目指した生徒の主体的な取組</li> <li>・週末課題、ドリル学習、教え合い学習の実施</li> <li>・長期休業中の補充学習</li> </ul>	<p>○基礎学力の定着が各種テスト結果（国語、数学、英語）に数値として現れた。</p> <p>○落ち着いて授業が開始できるようになるなど全体として学習規律が一步前進した。</p> <p>△授業規律の確立、基礎学力の定着が個々の教師の指導力に大きく左右されており、教科部会の充実など、指導方法の工夫改善をさらに組織的に進めていく必要がある。</p>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規範意識の醸成</li> <li>・生徒との信頼関係づくり</li> <li>・好ましい人間関係の育成</li> <li>・問題事象の未然防止</li> <li>・教育相談活動の充実と家庭との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動、業間指導等、生徒とのかかわりの重視</li> <li>・毅然とした指導、問題事象等の正確な情報収集と教職員の共通理解、複数指導等の組織的な対応（週1回定例の生徒指導部会及び教育相談部会の実施、週1回定例の「気づき」の発行、保健室を中心とした教育相談活動及び情報収集）</li> <li>・望ましい集団活動の活性化（体育祭、合唱祭、部活動、ボランティア活動における活動の工夫）</li> </ul>	<p>○生徒の主体的な活動が活性化し、全体として規律ある学校生活が送れるようになった。</p> <p>○不登校出現率（年間30日以上）を低位にとどめることができた。(H20年度5名、H21年度7名)</p> <p>△生徒の居場所づくり、怠学傾向にある反社会的問題事象を繰り返す生徒への具体的な個別の指導を工夫する必要がある。</p>

健康(体育)・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康の保持増進</li> <li>健康教育、性教育の充実</li> <li>安全に対する意識の高揚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の健康観察、保健室の来室状況の把握、養護教諭と連携した組織的な指導、保健だよりの発行</li> <li>薬物乱用防止指導、性教育等の系統的・計画的な実施</li> <li>毎日の登下校の安全指導の励行、定期的なPTA登校指導、交通安全教室の実施(1年)</li> <li>生徒会保健委員会の活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康管理を適切に行い、健康づくりを推進した。</li> <li>○性教育の指導計画を見直し、3年間を見通し実態に合った指導計画に改善できた。</li> <li>○ヘルメット着用が定着し、登下校中の交通事故発生も減少した。</li> <li>△安全に対する危機意識の高揚を図る必要がある。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路希望の実現を目指す取組の充実</li> <li>自己理解、望ましい職業観の育成</li> <li>進路情報の周知と啓発的な体験活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路学習(各学年)、福祉体験活動(3年)職場体験(2年生)の実施。</li> <li>生徒対象の講話学習(職業安定所職員、高等学校教員)、保護者対象の進学説明会の実施(6月:3年、10月:全学年対象)、進路だよりの定期的な発行</li> <li>高校が実施する体験学習や体験セミナーへの積極的参加</li> <li>全学年三者面談の実施(11月)二者面談(必要に応じて)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>△啓発的な体験活動をさらに計画的・系統的に取り入れる必要がある。(今年度は新型インフルエンザ感染予防のため、2・3年生の体験活動を中止)</li> <li>△よりきめ細かな個別の指導を行う必要がある。</li> <li>○進路情報を適切に保護者へ周知し、進路指導を進めることができた。</li> </ul>
研修(資質向上の取組)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本校の課題に応じた研修の実施(授業規律の確立を基盤とした授業力の向上)</li> <li>初任者研修を校内研修の場として活用</li> <li>教職員の学校運営への参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科部会による指導方法についての研修と指導の統一</li> <li>初任者や先輩教員による研究授業と事後研究会の実施</li> <li>先輩教員との複数指導や複数家庭訪問等の実施</li> <li>学校評価と教職員評価の連動と有効活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員の危機意識と共通理解が進み問題事象に全体が敏感に対応できるようになった。</li> <li>△授業規律の確立をテーマとした研究授業を組織的・継続的に取り組んでいく必要がある。</li> <li>△客観的データ等を活用し、学校評価及び教職員評価をさらにわかりやすく改善していく。</li> </ul>
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に開かれた学校づくり</li> <li>双方向の情報交流を生かした学校運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や保護者に対する誠実・迅速・丁寧な対応</li> <li>生徒指導総合連携推進事業の継続・発展{小中高連携・関係機関・関係団体との連携(病院、市民福祉課、警察、保護司、民生児童委員等)}</li> <li>地域の教育力の活用{ボランティア活動、職場体験、福祉体験、伝統文化体験学習、選択教科の外部講師(美術・家庭)}</li> <li>学校評価の工夫改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者や関係団体などと連携を深め、信頼される学校づくりを前進させることができた。</li> <li>△ホームページなどを活用した定期的な情報発信を進めていく。</li> </ul>
次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業規律の確立を基盤とした授業改善による基礎学力の定着(若手教員の授業力の向上を目指した校内研修と教科部会の充実)</li> <li>生徒の自律的な力、支え合う力の育成(生徒指導部と特別活動部の連携、行事や生徒会活動のさらなる工夫、部活動全体の活性化)</li> <li>学習指導・生徒指導・教育相談における校種間、関係機関、関係団体との連携強化(情報連携から行動連携へ)</li> </ul>		

# 平成 21 年度 学校評価自己評価報告

学校名〔京丹後市立橋中学校〕

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>1 学校教育目標 知・徳・体の調和のとれた発達を図るため「基礎学力の定着」と「学力の向上」を図り「豊かな心」と「主体的に生きる能力の育成」に努める。</p> <p>2 目指す生徒像 (1) 基礎・基本の学力を身に付け、目標を持って学習に取り組む生徒 (2) 郷土を愛し、思いやりの心を身に付けた生徒 (3) 何事にも「頑張り」「努力する」生徒</p> <p>3 学力向上のための具体的目標 1年 授業規律と基礎学力の定着 2年 学習意欲の向上と学習習慣の定着 3年 学力向上と進路を目指した計画的・意欲的な学習態度</p>		<p>○目標標準学力検査、全国学力・学習状況調査、京都府中学校学力診断テスト等の結果によれば、学力は定着しており、特に3年生は大きく定着・向上した。</p> <p>○問題事象はわずかで、不登校生徒は0である。不登校傾向生徒も減少した。</p> <p>○地域行事への参加体制は強く、合同行事も生まれ、多くの参加が実現した。 (課題) △少人数授業の充実ときめ細かな指導による学力の向上 △特別支援学級生徒への複数配置の授業形態による基礎基本の定着及び社会性や生きる力を身に付けさせる指導の実施 △作品展等、地域を対象とする学校行事の工夫</p>	<p>○学力向上プラン ・「英語」「数学」の効果的な少人数授業を行う。</p> <p>・家庭学習の定着 ・「授業に集中できる」生徒を育成する。 ・学力向上に焦点化した小中連携の推進 ・長期休業中の補習授業の実施(夏・冬) 「ふりスタ」の活用 ・広域テスト全科目平均点以上(理解度の認証)</p> <p>○豊かな心と主体性の育成プラン ・道徳教育の充実 年間計画に基づいた授業実践 「京の子ども、明日への扉」の有効活用 ・職場体験、福祉体験学習の効果的推進 ・活力と思いやりを大切にする学級経営 ・特別支援学級生徒に「社会性」を身に付けさせることを主眼とした指導の推進</p>
評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題(自己評価)
教育課程 学習指導	<p>○学力の向上 昨年度の「京の子ども 夢・未来校(学力向上公募校)」の研究成果を生かし、更に授業改善を目指す。また、家庭学習の定着について、課題提示(宿題)や自主学習の在り方を研修し、保護者の理解・協力を得ながら、連携し推進を図る。</p>	<p>・各教科において読解力向上を視点を据えた授業を行う。</p> <p>・5教科で授業改善プランの立案と改善を行い、読解力の向上と意欲の向上を意識した授業展開をする。</p> <p>・上記プランの交流や検討・検証を行う。</p> <p>・広域テストやCRT等で平均以上を取る取組(リピート学習、時間内小テスト、放課後学習、家庭学習の充実、協同学習など)を実施する。</p> <p>・週末課題を提示し、確認テストを実施する。</p> <p>・生徒全員にやり切らせる指導を行う。</p>	<p>○目標標準学力検査、全国学力・学習状況調査、京都府中学校学力診断テスト等の結果によれば、学年によりバラツキはあるが、学年が上がるにつれて学力は概ね定着している。</p> <p>○生徒は落ち着き、授業規律は大きく崩れることはない。</p> <p>△意欲的に意見を発表する態度の育成等、自己表現力を伸ばすために国語科でのNIEや総合的な学習の時間の指導で改善を目指したが、十分な成果が得られなかった。</p> <p>△家庭学習時間が少なく、家庭での主体的な学習習慣の育成が課題である。PTA等、家庭との連携による改善を図る必要がある。</p>

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒のより良い人間関係育成</li> <li>○不登校生徒出現の未然防止</li> <li>○ネット関連問題事象の未然防止を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織的な生徒指導を行う。</li> <li>・学校生活のきまりを徹底する。</li> <li>・生徒指導部会を毎週開催する。</li> <li>問題事象が発生した場合は、その日の内に解決を図る。</li> <li>・朝会開催時に生徒指導部より課題提起と指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導主任を中心に指導方針に基づいて指導を進め、問題事象への迅速な指導を行った。</li> <li>△ここ数年0であった不登校生徒を出してしまった。</li> <li>小学校から引きずる人間関係の課題を中学校で解決できず、不登校の兆しへの初期対応が不十分であった。</li> </ul>
健康(体育)・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が日常生活や安全教育・性教育等を通して、主体的に健康で安全な生活を創り出す態度を育成する。</li> <li>○食育教育の推進</li> <li>危機管理体制の整備・充実と全教職員の危機管理意識の向上</li> <li>○通学路の見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の健康維持のために、養護教諭が中心となり保健室指導および学級指導を行う。また、性教育等の指導を進める。</li> <li>・給食週間の取組を通して食育を充実させる。</li> <li>・避難訓練を各学期に1回以上実施。</li> <li>・校内施設・設備の安全点検を各学期に1回以上実施</li> <li>・P-T-Aへの安全指導の協力依頼および教職員と連携協力による安全確保(行事、朝の登校時、日没の早い晩秋の下校時の安全指導)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登下校時や学校行事等における交通事故や大きな事故等はなく、安全が保たれている。</li> <li>○生徒の実態調査アンケートから始まる給食週間を充実させ、生徒の食や食生活への関心を高めた。</li> <li>△部活動時間等において、体育館やグラウンドでの負傷が見られた。生徒の体力や敏捷性の低下等に起因すると考えられるもの、不注意によるもの等が見られ、生徒の実態に合わせた指導の充実が必要となっている。</li> </ul>
開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者及び地域との連携を強化し、教育活動に対する評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月学校だよりの発行</li> <li>・行事前の案内状の配布と新聞折込の実施</li> <li>・学校評議員・P-T-Aとの連携強化</li> <li>・年2回学校評価アンケートの実施</li> <li>・地域行事への積極的な参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○広報活動を充実させ、P-T-Aとも連携しながら学校や学校の取組を広く周知した。作品展やP-T-A主催の発達障害等をテーマにした講演会等は、昨年度の反省を踏まえて取り組み、参加者は急増した。</li> <li>△学校評価に関わるアンケート等の充実(項目等)</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年間を見通した計画的・系統的な進路指導・キャリア教育の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路関係の取組を充実させて、生徒が将来の目標に向かって主体的に学習する機会を与える。</li> <li>・三者面談・進路説明会の充実と3年進路希望調査の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3年生の進路指導において情報収集に努めると共に各家庭との連携を深め、学校の指導内容について理解を得ることに努めた結果、納得のいく進路決定が進んでいる。</li> <li>△キャリア教育と進路指導のカリキュラムの整理</li> </ul>
特色ある学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「豊かな心」「主体的に生きる能力」を育成するため、総合的な学習の時間や道徳教育、また進路指導における職場体験等体験学習のカリキュラムの充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生は、地域調べ学習と共に福祉体験学習を充実させる</li> <li>・2年生は、職場体験学習に加えて、新たに地域の産業である農業体験学習を実施する。</li> <li>・3年生は、地域の福祉施設を利用した福祉体験学習を実施する。</li> <li>・生徒会活動の一環として、P-T-Aと連携し校区内全家庭対象の廃品回収および文化鑑賞会を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体験学習の充実のために地域産業分野の体験場所の開拓に努め、新たに農業体験を実施することができた。</li> <li>○P-T-Aとも連携し、学校評議員の助言も得ながら、従来から実施している校下全地域をあげての廃品回収を今年も取り組み生徒の主体的な活動となるよう指導に努めた。</li> <li>△農業体験の指導カリキュラムの改善・充実</li> </ul>
次年度に向けた改善の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>○少人数授業によるきめ細かな指導の充実による学力の定着と向上</li> <li>○家庭学習の充実による主体的な学習態度の育成</li> <li>○特別支援教育について <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数教員配置の授業による基礎基本の定着</li> <li>・生徒の発達課題に応じた指導計画を立案し、社会性や自立を助ける指導の実施</li> </ul> </li> </ul>		



# 平成21年度 学校評価自己評価報告

学校名〔京丹後市立間人中学校〕

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
1 確かな学力を身につけ進路を切り拓く力をつける。 2 心の教育の充実をめざし、豊かな感性を身につける。		生活規律の向上をめざす指導と進路の実現にむけた取組み(ドリル、補充学習等)により意欲的な学習を行なおうとする気運が高まった。  個々人の実態に応じた内面に訴える指導を展開させることに課題が残った。(学力向上、問題行動の対応)	1 わかる授業の展開、意欲の醸成 (1) 授業規律の向上、既習事項を確認させる。 (2) 自信につなげる補充学習の設定し、検証する。  2 良好な人間関係構築、人権意識高揚 (1) 生徒理解に徹する。(教科指導、学級指導、面談を通して) (2) 道徳の時間、部活動の活性化を図る。
評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題(自己評価)
教育課程 学習指導	学習習慣を定着させ、学力向上を図る。	既習事項習得の確認テスト、理解度の把握、計画した中心発問等による授業展開を充実させる。  教員の参観授業の結果をもとに授業の構想を工夫すること 思考力を試す問いかけを盛り込む定期テストにすること	○繰り返し行なう学習により重点事項が理解できるようになった生徒が増えた。  △基本問題に対応ができて長文の読解、思考力、表現力については課題がある。学習内容を整理し、的を得た説明により、じっくり聞かせる指導を行なうことである。
生徒指導	目標を確認し、つけるべき力を自覚させ、今後の生き方を支援する。	全教員一斉に行う教育相談活動(全校生徒対象) 評価集会(保護者、地域、教師、生徒からの声をもとにした良さを認め合う場の設定)  生徒への個別対応	○面談を通して生徒の実態を把握し、今後の指導が効果的にできた。  △内面に迫る指導に心がけ、さらに生徒と教師の良好な信頼関係を築き、先行的な指導が要る。

健康(体育)・安全	心身ともに健康で安全に過ごす生徒を育成する。	日々の健康観察と指導(朝練習への参加、給食の状況把握、保健室への来室) 保健教育(健康管理、性教育、薬物指導)・・・保健所との連携、講話 安全教育(交通マナー、登下校の指導、避難訓練)・・・交通教室の実施、PTA 交通指導	○就寝・起床、運動、食事のバランスが整い、朝のトレーニングへの参加生徒が増え欠席者が激減した。保健室へ来室する生徒の思いに共感し自立する支援ができた。 △自分自身の心と体の状態をしっかりと把握させる必要がある。 △安全指導は関係機関、保護者や地域と連動した取組を今後さらに継続していくことである。
進路指導	望ましい職業観や勤労観を身につける。	1年福祉体験、2年職場体験、3年高等学校体験セミナーへの参加、全学年 進路学習(講話 ハローワーク、地域住民他)	○地域の方からの講話は、将来を展望し、よりよい生き方を模索できた。 △体験し、実感したことを日々の生活に生かす指導が必要である。
特色ある学校づくり(1)	基礎基本を定着させ、分かる喜びを味わわせ、できることを増やし、自信につなげる。	チャイムなしの学校生活 生徒の自主的な活動の育成 放課後重点補強学習 全学年 火曜日・木曜日 家庭学習 月曜日～木曜日1時間以上の学習(毎日の課題提示) 金曜日 (3教科週末の課題) 個別学習 学力実態にあわせた問題の提示	○家庭学習が定着し、自主的な活動ができるようになった。 △できる喜びや自信をもたせ、さらに学力向上をめざす取組を継続していく必要がある。 △学習内容の検証結果をもとにした適切な教材を作成することが臨まれる。
特色ある学校づくり(2) 保護者・地域との連携	教育活動の理解、協力を求め、生徒の健全育成をめざす。	地域貢献活動(6月学年ごとの浜掃除作業 8月各区長と生徒の相談後、町内公共施設等の清掃活動 9月生徒と保護者、地域住民と海岸清掃)・親子行事(PTA活動) 地域へ生徒の活動を発信すること(吹奏楽演奏 福祉施設慰問、ミニコンサート)	○PTA、地域の方々の協力もあり、浜掃除では生徒の意欲的な活動になった。 ○吹奏楽ミニコンサートは、生徒の活動を地域へ発信できた。 △さらに多くの方々とともに活動ができるよう広報活動を工夫し、教育活動の理解を得ることである。
次年度に向けた改善の方向性	地域の学校として信用と信頼を得る学校づくりをめざす 1めざす学校及び現状を地域に発信する。(学校公開、たより・学級通信の発行) 2地域を巻き込む教育活動を展開する。(部活動支援、生徒・地域合同取組、学校評価) 3道徳教育、特別活動(生徒会、部活、地域貢献活動)、学力の充実に力点をおく。 上記3点を基本に据え、生徒の内面に迫る学習指導と生徒指導を推進していく。		

# 平成21年度 学校評価自己評価報告

学校名〔京丹後市立宇川中学校〕

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
1 質の高い学力の育成 2 進路指導の充実 3 健康な体と豊かな心の教育の充実 4 信頼される学校づくり 5 教職員の資質能力の向上	1 学力の定着 ○学習意欲を高める教材の工夫や授業改善の充実 △授業規律と学習習慣の確立、学力の向上、評価研究の実施 2 生徒指導の充実 ○生徒指導部会の定例化、主任を中心とした指導体制の確立 △教職員の危機意識の高揚 3 道徳の充実 △校内研修の実施、他教科・他領域との関連を図った年間計画 4 健康や体力の向上 ○定期的な生徒の実態交流と研修の実施 △教育相談部会の充実、一人一人の存在感がある部活動の充実 5 信頼される学校づくり ○積極的な学校公開の実施 △教育活動の情報発信、小中連携、家庭と地域との連携強化	1 京の子ども夢・未来校指定研究を軸に、一人一人に質の高い学力の育成を図る。 2 夢や希望をもって未来を拓く、進路指導の充実を図る。 3 生徒指導の一層の充実を図る。 4 道徳の時間を要とした「心の教育」の充実を図り、心豊かな人間性を育む。 5 教育活動全体を通して、健康や体力の向上に努めさせる。 6 信頼され、開かれた学校づくりに努める。 7 小・中・高連携の更なる推進に努める。 8 効果的な運営を目指した各分掌間の連携の強化を図る。 9 教職員の指導力向上を図る研修の充実を図る。

評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題(自己評価)
教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「京の子ども夢・未来校」指定研究を軸に、質の高い学力の育成と研究推進</li> <li>・学力の実態把握と向上</li> <li>・思考力、判断力、表現力の育成(言語の力・活用する力)</li> <li>・指導方法の研究と改善</li> <li>・授業規律の確立</li> <li>・家庭学習習慣の確立</li> <li>・学校生活の活性化と日常活動の創造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究推進委員会と各分掌との連携強化で組織的な研究実践を推進</li> <li>・SHR、生徒会活動、部活動、学校行事等すべての教育活動を通して自己表現の場を設定</li> <li>・家庭学習の習慣化に向けた日々の課題の提示と添削、やりきらせる指導の継続</li> <li>・全教科における週末課題の取組</li> <li>・授業規律に関する指導の統一</li> <li>・生徒会活動の充実</li> <li>・学級活動の日、生徒会活動の日を隔週で設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新教育課程の趣旨を踏まえた外部研修が校内研修にフィードバックできた。</li> <li>○言語の力の理論学習、及び視点を明確にした授業研究を実施することができた。</li> <li>○積極的な研修と授業改善、生徒の意欲を引き出す学校活性化の取組が教職員はもとより宇川中学校全体の学校力のレベルを引き上げることに繋がった。</li> <li>△新教育課程の全面実施と移行措置に伴う追加項目がわかる教科年間指導計画の作成</li> <li>△研究授業事前研究が個人の授業準備に留まり不十分になりがち。複数教師による事前研究が必要</li> </ul>

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好ましい人間関係の育成と学級経営の充実</li> <li>・自らの課題を解決する意欲の育成</li> <li>・規範意識の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気づきメモによる状況交流と生徒理解</li> <li>・定例生指部会の実施、組織的な対応</li> <li>・教科指導、部活指導を中心とした規範意識の育成</li> <li>・地域、家庭、校種間と連携した生徒指導の充実</li> <li>・積極的な生徒指導と教育相談活動による生徒理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学級活動、部活動等で「言語の力」を意識した自己表現の取組は学級の人間関係の構築に活かすことが出来た。</li> <li>○気づきメモを定期的に記入することで、情報交流と全教職員が一致した指導の確認が素早く出来た。</li> <li>○言葉遣い等の指導は規律ある学校生活つなげられた。</li> <li>△生徒指導、教育相談に関わる学級経営力の充実</li> <li>△卒業生の状況をふまえ、中高連携強化と指導体制の確立</li> </ul>
健康(体育)・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育相談機能の充実を図り、不登校未然防止</li> <li>・安全教育の充実</li> <li>・部活動の推進</li> <li>・食育指導の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態交流、教育相談部会を定期的実施</li> <li>・計画的な性教育、食育指導等の指導、</li> <li>・毎月1回、校舎内外の安全点検を実施</li> <li>・一人一人が存在感のある部活動と一人一言「振り返りタイム」の取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不登校、生徒理解のための校内研修を行うことが出来た。</li> <li>○AED校内研修が出来た。</li> <li>○部活動における一人一言「振り返りタイム」の取組は、部活への意欲とチーム力を高めるのに効果的だった。</li> <li>△危機管理マニュアルの見直し、食育指導の推進</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三年間を見通した系統的、計画的な進路指導の推進</li> <li>・目的意識を高める指導の充実</li> <li>・学力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職場体験、講話学習の実施、進路学習の充実</li> <li>・計画的な二者面談、三者面談の実施</li> <li>・進路情報の収集と活用の推進</li> <li>・放課後学習会と家庭学習課題の実施と添削指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○二者、三者面談は、進路に対する生徒の意識を高めた。</li> <li>○家庭学習課題と添削指導は、生徒の学習意欲と家庭学習習慣の定着につながった。</li> <li>△三年間を見通した系統的な進路学習</li> </ul>
研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の指導力向上を図る研修の実施</li> <li>・外部研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導部と「京の子ども、夢・未来校」研究推進委員会と連携した研修の実施</li> <li>・学校評価の有効活用</li> <li>・外部研修の内容を校内研修へフィードバック</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語の力を育てる理論研究が深まり、教材の工夫や授業改善が進んだ。</li> <li>○研修で学んだことを伝達し、共有化を図ることが出来た。</li> <li>△学校評価の改善</li> </ul>
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連携事業の発展</li> <li>・教育活動の積極的な公開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導・生徒指導に関する小中連携の実施(出前授業、相互の授業参観、夏季合同研修会等の充実)</li> <li>・ホームページの更新</li> <li>・内にも外にも「広く見せる・聞かせる宇川」を発信する広報活動の充実</li> <li>・PTA活動「家庭教育研修会」を年2回開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小中連携では、「学力」の共通課題を認識し、中一ギャップを埋める取組が出来た。</li> <li>○行事では保護者に限らず多くの地域の方の参加があり、生徒達のチャレンジ意欲と自信につながった。</li> <li>○学校の様々な取組は、保護者・地域から厚い信頼と大きな期待を得て、地域に根付く学校へと変わりつつある。</li> <li>△地域と連携した教育活動</li> </ul>
次年度に向けた改善の方向性	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域に信頼される魅力ある学校づくり(本年度以上に学校教育活動や生徒達の様子を地域に紹介する。)</li> <li>2 宇川地区及び日本の伝統・文化を知るとともに、世界に目を向ける国際理解教育の充実</li> <li>3 「自分を表現する力」「すべての教育活動における意欲」を更に高め、全教科における質の高い学力の育成</li> <li>4 夢を持ちチャレンジする生徒の育成</li> </ol>		

# 平成 21 年度 学校評価自己評価報告

学校名〔京丹後市立弥栄中学校〕

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題		本年度学校経営の重点(短期経営目標)
<p>1 一人一人の生徒に確かな学力の定着を図る教育活動の推進</p> <p>2 心の教育の充実を図り、心を揺さぶり、心を鍛え、主体性をはぐくむ教育活動の推進</p> <p>3 自立への歩みを理解し、深い信頼と強い絆のもとに進める不登校の未然防止と解消</p> <p>4 安心・安全で、開き、信頼される学校づくりの推進</p>	<p>1 学力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学力は平均以上を達成</li> <li>○ 学力向上の小中連携</li> <li>△ 表現力の育成</li> </ul> <p>2 心の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>△ 道徳の時間の改善</li> <li>△ 学校全体としての道徳性を高める計画的実践</li> <li>○ 文化芸術鑑賞の継続実施</li> </ul> <p>3 不登校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 不登校の未然防止および解消</li> <li>△ スクールカウンセラーの活用</li> </ul> <p>4 安心・安全、開かれた学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校・学年・学級だより</li> <li>△ 定例学校公開の周知と参加者数の増加</li> </ul>	<p>1 学力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 指導方法の工夫改善と指導体制の充実</li> <li>(2) 基礎・基本の徹底、学力の充実・向上</li> <li>(3) 生徒が充実感を抱く魅力的な授業づくり</li> </ul> <p>2 心の教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 文科省指定道徳教育実践研究事業</li> <li>(2) 道徳の時間の充実・改善</li> <li>(3) 学校全体の道徳性を高める取組</li> </ul> <p>3 生徒指導・不登校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 不登校未然防止・取組充実</li> <li>(2) スクール・カウンセラー等との連携・活用</li> <li>(3) 実態把握と組織的指導体制確立</li> </ul> <p>4 安心・安全で、開き、信頼される学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育活動・学校運営等の積極的な公開</li> <li>(2) 地域社会との連携、教育力の活用</li> <li>(3) 危機管理体制の整備と充実</li> </ul>		
評価項目	重点目標	具体的方策		成果と課題(自己評価)
教育課程 学習指導	<p>学力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 指導方法の工夫改善と指導体制の充実</li> <li>(2) 基礎・基本の徹底、学力の充実・向上</li> <li>(3) 生徒が充実感を抱く魅力的な授業づくり</li> </ul>	<p>学力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 診断テスト・定期テスト等学力実態把握、分析対策 生徒と教師の信頼関係作り 分かりやすい授業作り</li> <li>(2) 全校学習等授業外学習、年3回参加意欲を高める。 長期休業中の学習会・ふりスタ等 朝読書等で、豊かな表現力育成を図る。</li> <li>(3) 指導案、授業形態、発問の工夫等、授業改善 教員の校内外研修、公開授業 生徒・保護者アンケートの活用</li> </ul>		<p>学力</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目標標準学力検査、全国学力・学習状況調査、府中学校学力診断テスト等、市、府の平均を達成している。</li> <li>△ 一部達成度の不満足な部分は再度指導した。</li> <li>○ 定期テスト等で個人学力を把握し、指導に生かした。</li> <li>○ 小中連携を強化。「実態交流」「小学校でつけておく力」等が効果をあげている。今年度新たに、小中教師の授業参観交流を実施</li> <li>○ 全校学習(年3回、英数国)、休業中学習会、ふりかえりスタディ、個人宿題等、意欲を高めた。</li> </ul>
生徒指導	<p>生徒指導・不登校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 未然防止・取組充実</li> <li>(2) スクール・カウンセラー等との連携・活用</li> <li>(3) 実態把握と組織的指導体制確立</li> </ul>	<p>生徒指導・不登校(最重点課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 未然防止等 ア 生徒指導部会及び教育相談部会 毎週定期開催 イ 落ち着いた学校生活の実現、問題には即対応 ウ 毎日、生徒全員の出欠動向を把握。毎日対応 エ 家庭訪問等懇切丁寧な対応、指導の深まり オ 小中連携強化</li> <li>(2) カウンセラー ア カウンセリングの働きかけと計画的な実施 イ 心の教室相談員との協力、連携 ウ 教師のカウンセリングについての研修</li> <li>(3) 実態把握等 ア 教育相談部会の毎週開催 実態把握と具体的な動き</li> </ul>		<p>生徒指導・不登校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現状把握・方針・学年行動等、すばやい対応をした。</li> <li>○ 本人・保護者を納得させる粘り強い指導ができた。</li> <li>○ 大きな問題事象はなく落ち着いた生活・授業ができています。安心できる学校づくりが基本</li> <li>△ 小中の細かな連携と継続性の確保、ていねいな取組が大切。</li> <li>○ 全欠席の不登校は0人である。</li> <li>△ 不登校に陥りやすい生徒は多く気をゆるめることはできない。</li> <li>○ 個別の事例について、一人は教室授業等への参加、もう一人は夕方登校等大きく改善できた。</li> <li>○ 今年度新規に校区小中教育相談部会を2回開催し、</li> </ul>

		イ 管理職、担任、学年、教科等多くの教師の連携 ウ 教師の感覚・意識の向上、保護者対応の深まり	各校の現状と対応等を交流した。
健康(体育)・安全	健康 (1) 認識を高める。 (2) 基本的な生活習慣の確立  安全 (1) 安心・安全な学校 (2) 安全教育・指導の徹底	健康 (1) 実態に即した保健教育と保健管理の徹底 (2) 喫煙・薬物乱用、感染症予防等自覚を高める。  安全 (1) 事故を未然に防ぐ意識、安全マニュアルの見直し 危機管理意識、自覚を高める研修。毎月、安全点検 (2) 通学路確認、登校指導や定期的な下校指導 交通教室、避難訓練等の実施	健康 ○ 新型インフルエンザの拡大防止に努めた。 ○ 保健便りで意識を高めた。 ○ 薬物、喫煙、飲酒等関係機関と連携し指導した。 △ 基本的な生活習慣の指導等、家庭との連携が必要  安全 ○ 毎月校内安全点検を実施、修繕に努めた。 ○ 不審者、火災、地震等避難訓練を実施 ○ 登下校指導毎日実施 △ 交通マナー意識の徹底が課題
(A) 進路指導	進路 (1) 希望進路実現に向けて、学力の充実向上、やる気を育成  (2) 正しい職業観や勤労意欲を身につけさせる。	進路 (1) 学力・意欲 ア きめの細かい指導を積み重ねる。 イ 年度当初から全学年計画的に二者・三者による進路相談を実施し、課題を明確にして指導する。  (2) 学級・総合等の指導充実 ア 親からの手紙(1年)、職場体験学習(2年)、個人レポート作成・発表(3年)等 イ 細やかな進路対策 個人家庭学習ノート、朝学習等	進路 ○ 希望進路の実現に向けて3年生全員努力している。 ○ 家庭と連携し進路相談を積み重ねている。 ○ 3年学年教師は細かく個別進路相談に応じている。 ○ 職場体験、卒業生の話等意識を高めた。 ○ 高校等の進路情報提供と的確な対応 △ 生き方にかかわる早期からの個に応じた進路指導 △ 進路目的、将来の見通しを踏まえた進路指導
(B) 特色ある学校づくり 心の教育	心の教育 (1) 文科省指定道徳教育実践研究事業1年目の取組 (2) 道徳の時間の充実・改善  (3) 学校全体の道徳性を高める取組	心の教育 (1) 道徳教育推進体制の整備・確立、年間指導計画、全体計画の見直し (2) 道徳の時間の充実改善 資料読み、中心発問、板書、発言させる工夫、指導案改善等 (3) 学校教育活動全体を視野に入れた取組 教科・特別活動・総合等との関連	心の教育 ○ 道徳推進教師を中心に推進体制は大きく改善 ○ 道徳の時間は大きく改善 資料解釈・指導案・中心発問・板書等 ○ 保護者啓発 講演会、道徳授業参観、学校・学年・学級便り等 △ 学校教育活動全体に道徳教育の視点を確立 △ 給食、掲示、合唱、挨拶等に道徳的視点を意識
(C) 開かれた学校づくり	安心・安全で、開き、信頼される学校づくりの推進 (1) 教育活動・学校運営等の積極的な公開  (2) 地域社会との連携、教育力の活用	開かれた学校 (1) 公開 ア 月に1度、ホームページ更新 イ 学校便り月2回発行 ウ 学校公開、年間いつでも公開。参加者を増やす。  (2) 連携 ア 地域社会の行事に参加し、ふれあいを深めるとともに、地域に貢献する。 イ 総合的な学習の時間に地域の学習をする。 ウ 小中合同で「弥栄っ子ふれあいフォーラム」を開催し地域社会にアピールする。	開かれた学校 (1) 公開 ○ ホームページ更新に努めた。 ○ 学校便り月2回発行で保護者理解に努めた。 △ 行事には参観が多いが公開の申込は少ない。 ○ 第2回作品展を開催。大好評で理解を深めた。  (2) 連携 ○ 地区運動会で役割を果たし、ほめられた。 ○ 社会福祉協議会等のボランティアに参加した。 ○ 1年地域学習、2年職場体験学習で地域を学んだ。 △ 弥栄っ子ふれあいフォーラムはインフルエンザのため中止となった。
次年度に向けた改善の方向性	1 学力向上の取組充実 2 道徳教育の充実による心の教育の推進 3 生徒指導の充実、不登校の未然防止と解消の実践 4 保護者・地域と連携した開かれた学校づくりの推進 5 小中連携を深め、円滑な接続を図る。		

# 平成21年度 学校評価自己評価報告

学校名〔京丹後市立久美浜中学校〕

学校経営方針(中期経営目標)		前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
「ふるさとを愛し、夢を持ち、賢く逞しく 生き抜く生徒の育成」		・問題事象に対する生徒指導部中心の組織的・原則的な対応 課題 ・授業改善、観点別評価Cの生徒への手立てを意識した授業 作り	「豊かな人間性の育成」「確かな学力の育成」 「開かれた学校づくり」について個々の教職員 がそれぞれの分野に於いて具体策を示し、組織的な 指導に当たり、信頼される学校づくりをめざす。
評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題(自己評価)
確かな学 力の育成	(1) 授業実践力の向上 (2) 学習習慣の確立 (3) 言語活動の充実 (4) 読書活動の充実	①感じたことや思いを文字で表現する機会を多く持つ。 ②学習発表会等における内容や発表の仕方を工夫する。 ③系統別部会が創造的に活動し、授業改善意識を高める。 ④関心意欲等、具体的評価内容を交流・充実させる。 ⑤生徒の生活実態を把握し、生徒や家庭に実態を知らせる。 ⑥生徒実態に即した家庭学習のあり方を検討・指導する。 ⑦読書エッセイ(教師)と読書コメント(生徒)を掲示紹 介し、読書意欲を喚起する。	○各教科で「発表」を意識した授業づくりを行った。発 表に抵抗感がなくなり、全校国語(スピーチコンテス ト)も発表内容・方法等、質が向上した。 ○定期的な系統別部会により、授業形態や資料・発問を 工夫する等、授業改善への意識が高まった。 △評価規準・内容の曖昧さ(教科指導者による)をなく し、生徒・保護者から信頼される評価・評定を目指す。 △家庭学習の実態把握だけでなく、学習習慣確立に向け た家庭学習のあり方について具体的に指導する。
豊かな人 間性の育 成	(1) 道徳教育をすべての教育 活動を通じて実践 (2) 規範意識の醸成 (3) 不登校・いじめの未然防 止と解消 (4) 積極的なボランティア活 動の創造	①問題事象等、課題と指導内容を明確にし、生徒指導部 を中心に組織的に対応する。 ②教師の語り込みや働きかけ等を積極的に行い、生徒との 信頼関係を作る。 ③学校生活や家庭生活の課題に対して様々な道徳教育(道 徳の時間も含む)を実践する。 ④社会人講話から自らを振り返らせ、望ましい生き方を追 求させる。 ⑤特別活動を充実させ、リーダー層を中心に組織的な課題 解決を追求させる。 ⑥教育相談小会議を機能させ、課題を解決する。 ⑦主体的に取り組めるボランティア活動を創造する。	○規範意識や仲間関係に係る諸問題に対して原則的に対 応し、落ち着いた雰囲気生活させることが出来た。 ○全校道徳や社会人講話を実施し、生徒相互の価値を交 流したり講師の価値や生き方に触れることで、自分を 振り返り、あり方を考えさせることが出来た。 ○SCと連携した不登校(傾向も含む)生徒別小会議の 充実により、改善の方向に進んだ生徒が多い。 ○社会教育と連動した地域別サロン活動を実施する等、 ボランティア活動への関心を高めることが出来た。 △教師自身の生き方を問い直し、指導意識を高める。 △保護者に生徒の実態を的確に認識させ、家庭教育力を 高めるとともに、地域への働きかけ(啓発)を強める。

<p>体力の向上と健康安全の推進</p>	<p>(1) 食育指導の充実 (2) 部活動の充実と達成感の享受 (3) 緊急時対応訓練の充実</p>	<p>①食育指導を充実させ、望ましい食生活と習慣について考えさせる。 ②教師の指導意識を高め、部活動を充実させる。 ③緊急時対応の訓練を充実させる。</p>	<p>○養護教諭と連携した栄養教諭の食育指導（「中学生の体作りと栄養バランス」）により健康な体づくりへの関心が高まった。 △部活指導のあり方について職員で交流し、指導意欲を高める。 △緊急時の対応訓練内容を工夫し、具体的な対応方法について教職員に徹底する。</p>
<p>進路指導の充実</p>	<p>(1) 全体計画の検討・改善 (2) キャリア教育の充実</p>	<p>①生徒の実態を踏まえ、進路指導全体計画を改善する。 ②職場体験学習を充実させ、仕事や自分の将来設計について考えさせる。</p>	<p>○地域学習と職場体験学習を連動させ、自分と地域の将来を考えることで将来目標を設定することが出来た。 △生徒実態に合った指導内容を工夫・実践し、全体計画を見直す。</p>
<p>特別支援教育の充実</p>	<p>(1) 生活実態と学習状況の把握分析 (2) 実態交流と具体的支援の検討</p>	<p>①特別な支援を要する生徒の実態を把握し、指導を工夫する。 ②観点別評価C生徒への手立てを意識して指導する。</p>	<p>○特別な支援を要する生徒について交流し、実態把握した。 △個別の支援計画作成に止まらず、具体的実践・交流・改善のサイクルを作り上げる。 △さらに観点別評価C生徒への手立てを意識した授業作りを意識させる。</p>
<p>保護者・地域との連携</p>	<p>(1) 家庭・地域社会との連携 (2) 家庭の教育力の醸成</p>	<p>①悪いことも良いことも積極的に家庭連絡する。（家庭訪問・電話連絡等） ②学級通信や学校だより等により生徒の様子を伝える。 ③PTA本部・専門部活動を充実させる。 ④関係諸機関との連携を密にする。</p>	<p>○学校行事等への家庭・地域の関心は高く、行事や普段の取組を通して生徒の頑張りを発信することが出来た。 ○学校での教育活動内容を率直に伝え、協力を求めることが出来た。 △家庭の教育力を高めるため、生徒の実態を的確に伝え、同一視点での指導の協力を強く求める。 △小中連携の強化とともに町内諸団体との連携を密にし、子育てネットワークを作る。望ましい久美浜の児童生徒像を確認し、具体的な協働の取組を実施する。</p>
<p>次年度に向けた改善の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三者会議、企画会議に於いて学校課題を明確にし、組織的な実践により課題解決を図る。</li> <li>・全校道徳と学年道徳を充実させ、豊かな人間性を育成するとともに望ましい仲間関係を作る。</li> <li>・SCと連携した不登校生徒のケース会議を充実させ、解消に向けた諸取組を実施する。</li> <li>・小中連携（言語活動・表現力の充実、理数科への興味関心の高揚）の具体的実践内容を検討し、実践に結びつける。</li> <li>・「授業と学力」「家庭学習の重要性」について生徒・保護者に分かりやすく指導し、保護者の協力を求めながら学校との信頼関係を確立する。</li> </ul> <p>また、地域との連携を深め、望ましい久美中生徒像を共通理解・確認するとともに地域を挙げた具体的な取組を実施する。</p>		



# 平成21年度 学校評価自己評価報告

学校名〔京丹後市立高龍中学校〕

学校経営方針(中期経営目標)	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
1 創意ある教育課程の編成 2 学力の充実・向上 3 心の教育の充実 4 特別支援教育の推進 5 開かれた学校づくり	1 創意ある教育課程の編成 ○高龍中学校教育プロジェクトの改善を行った。 2 学力の充実・向上 ○少人数指導等の授業研究、補習指導の工夫によって基礎基本は一定定着した。 △発展的な指導に課題があった。 3 心の教育の充実 ○問題事象は年間を通して0であった。 ○全校道徳、「はあとほっとタイム」を改善した。 △登校渋りや集団に入れない生徒へ指導に課題が残った。 4 特別支援教育の推進 △個別支援計画による具体的な指導に課題が残った。 5 開かれた学校づくり ○学校評価を保護者や関係者に公開、評価を得た。 △学校評価の工夫改善を図る。	1 教育プロジェクトの推進を軸に、創意ある教育課程を編成し、学校運営を組織的に推進 2 学力の充実・向上 (1)各教科の基礎基本の定着 (2)自ら学ぶ意欲の向上、個に応じた指導の充実 (3)授業改善の推進と指導力の向上 (4)読書活動の推進、総合的な学習の時間の充実 3 豊かな人間性の育成 1)不登校の解消 (2)道徳教育・進路指導・人権教育・特別活動充実 4 特別支援教育の充実 障害ある生徒一人一人の教育ニーズに応じた教育支援 5 開かれ、信頼される学校づくり (1)学校・家庭・地域社会の一体化 (2)学校評価の充実 (3)家庭の教育力の向上

評価項目	重点目標	具体的方策	成果と課題(自己評価)
教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育プロジェクトの研究推進</li> <li>・各教科の基礎基本の定着</li> <li>・自ら学ぶ意欲の向上、個に応じた指導の充実</li> <li>・授業改善の推進と指導力の向上</li> <li>・家庭学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育プロジェクト会議の定例化</li> <li>・教育実践モデル校、学力調査活用アクションプラン推進校研究</li> <li>・学力課題の分析(CRT、学力診断テスト等)</li> <li>・京都式少人数授業実施(数学、英語)</li> <li>・全教職員による授業研究会実施</li> <li>・家庭学習の定着指導(課題の提示、点検)家庭生活(学習)習慣の向上</li> <li>・定期的な授業アンケートによる実態把握</li> <li>・小中連携(授業参観、出前授業、会議)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭学習の充実を目指し、本校アクションプランを策定し、学力向上に向けた教職員の意識が向上した。</li> <li>○習熟の程度に応じた授業の実施が基礎学力定着に繋がった。</li> <li>○校内授業研究会を年間6回実施した。3つの研究テーマに沿って研究協議を深めた。</li> <li>○家庭学習習慣化と充実に向けて、課題の提示や点検をし、保護者や小学校教員対象の教育講演会を開催し、意識化を図るきっかけとなった。(京都教育大学大学院教授)</li> <li>○定期的学習アンケートから、家庭学習の時間の増加が見られた。</li> <li>○小学校への出前授業の実施、小中の授業参観を実施し、課題を共有した。</li> <li>△学力診断テストの正答率の向上を図る。</li> </ul>

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の未然防止と解消</li> <li>・規範意識の高揚</li> <li>・自己肯定感の向上</li> <li>・情報の共有化、組織的な対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の実態把握と組織的な対応、保護者との連携（生徒指導部会、教育相談部会）</li> <li>・「はあとほっとタイム」の充実</li> <li>・SC、相談員、関係機関との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題事象が年間通してなかった。</li> <li>○「はあとほっとタイム」を改善し自己肯定感の醸成に繋がった。</li> <li>△年間通して30日以上欠席生徒が多数出現した。人間関係作りに重点を置き指導方法を検討する必要がある。</li> <li>△SC、相談員、関係機関との連携強化と個別支援を充実させる。</li> </ul>
健康(体育)・安全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校時の安全確保</li> <li>・健康安全意識の高揚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA 毎朝の立ち番、放課後の教職員立ち番</li> <li>・「夏みかんの日」の取組の継続発展</li> <li>・避難訓練(火災、不審者)の実施</li> <li>・性教育、薬物乱用防止教室の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登下校時の事故はなかった。PTAの安全への協力体制が高い水準である。</li> <li>○「夏みかんの日」の集会を機に命の大切さを再確認し、生活改善に繋がった。</li> <li>○避難訓練実施、講義を受け、安全意識の高揚に繋がった。</li> <li>△大人の目の届かない場面では交通安全が徹底出来ない。</li> <li>△健康安全計画の見直しを図る。</li> </ul>
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害のある生徒一人一人の教育ニーズに応じた教育支援</li> <li>・コーディネーターを中心とした校内体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする生徒の実態把握</li> <li>・個別の指導計画の作成・実践・評価</li> <li>・特別支援教育の理解を深める研修</li> <li>・校内委員会の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の機関との連携を図ることで、指導や対応の仕方等について研修を深めることが出来た。</li> <li>△通常学級在籍生徒の具体的な支援を図る体制作りを行う。</li> <li>△教育相談部との連携のあり方を研究することが課題である。</li> </ul>
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望進路の実現</li> <li>・進路学習の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間指導計画に基づいた系統的な進路指導</li> <li>・体験学習の実施、高校制度学習</li> <li>・計画的な進路相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○全員が第一希望の進路を実現した。</li> <li>○組織的・系統的・計画的な進路指導が出来た。</li> <li>○全学年保護者に高校制度改革説明会を実施した。</li> </ul>
開かれ、信頼される学校作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・家庭・地域社会の一体化</li> <li>・学校評価の充実</li> <li>・家庭の教育力の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校便り、学校公開の実施</li> <li>・夏休み地域ふれあい活動の実施</li> <li>・評議員、民生児童委員との定期的な懇談</li> <li>・学校評価(自己評価)の地域保護者へ発信</li> <li>・家庭との連携強化</li> <li>・教育講演会の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校便りやリーフレットの配布・回覧、HP等により情報提供し、本校の教育に保護者も地域も大変協力的である。</li> <li>○学校評価(自己評価)を中間・年度末に保護者や関係者に公開し、教育プロジェクトの取組に一定の評価を得た。</li> <li>○学校評議員会や民生児童委員との定期的な学校公開・懇談会で積極的に発信が出来た。</li> <li>○子育て講演会や教育講演会を開催し、家庭のあり方について研修を深めた。</li> <li>△学校評価の公表方法を改善し、多くの意見等を得ることで、今後の学校教育の改善に繋がなければならない。</li> </ul>
次年度に向けた改善の方向性	<p>本年度は、京丹後市教育委員会「教育実践モデル校」、京都府教育委員会「学力調査活用アクションプラン推進校」の指定研究を受けたことを機に、教育プロジェクト研究を工夫改善し教育を推進してきた。生徒の学習意欲や家庭学習の習慣化に一定の成果があったが、中学校教育の総和である希望進路実現を目指し、学力診断テストの正答率を向上させるために、一層の工夫改善を図らなければならない。また、今年度は不登校の多数の出現がみられた。不登校の未然防止と解消が大きな課題である。</p> <p>次年度は、教育プロジェクトの構想の見直しを図りたい。学力向上については授業改善と主体的な家庭学習の定着を、心の教育の充実についてはすべての生徒に自己肯定感の醸成と不登校生徒の未然防止と解消を重点課題として取り組みたい。保護者や地域、関係機関との連携、小中高の連携を強化し、課題解決を図りたい。</p>		